

# 「課題名：インテグラーゼ阻害剤の日本人における治療効果、副作用の把握及び海外報告との比較検討」について

## ○ 研究の意義・目的

抗 HIV 薬の国内の有用性の高い臨床試験はごくわずかであり、承認時の臨床データは主に海外のデータです。また、新薬は日本人への使用経験は少ないままにガイドラインの推奨薬となります。インテグラーゼ阻害剤は抗 HIV 薬の一種であり、ここ数年新薬が続々と発売されている薬剤のグループですが、日本人の臨床データは乏しい状況です。服用患者の効果、副作用をモニタリングし、海外報告と比較することで、今後の HIV 治療に活用可能な知見を得ることができます。

## ○ 研究対象者

2015年4月1日から2017年3月31日までに、広島大学病院でインテグラーゼ阻害剤（アイセントレス錠、スタリビルド配合錠、テビケイ錠、トリーメク配合錠）を処方された患者さんを対象とします。

## ○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は治療歴、処方内容、年齢、身長、体重などの身体所見、腎機能や肝機能、HIV ウイルス量などの検査所見です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

## ○ 研究期間 2016年4月13日（委員会承認後）～2022年12月31日

## ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 藤井 健司（担当者）